

6月4日～10日は危険物安全週間

私たちの生活に欠かせないガソリンや灯油、高濃度の消毒用アルコールなどは、一つ取り扱いを誤ると火災等の事故につながる危険性があります。このように火災危険性の高い物品は「危険物」として消防法で規制されていますが、全国的に危険物の事故は後を絶ちません。

消防局では、総務省消防庁が推進する毎年6月第2週の「危険物安全週間」に、危険物に対する保安意識の高揚を広く呼びかけています。

身の回りにある危険物の取り扱いや保管の方法について、引火や漏れのおそれがないか安全確認をお願いします。

—令和5年度危険物安全週間推進標語—
「意志つなぐ連携プレーで事故防ぐ」
(消防局予防部指導課 ☎363-2249)

露店等で火気を使用する場合は届け出が必要です！

火気を使用する露店等(移動販売車や屋台等を含む)を開設する場合は、消火器の設置や管轄する消防署への届け出が必要です。

詳しくは、市ホームページまたは管轄消防署へ。
(消防局予防部指導課 ☎363-0212)



住宅用火災警報器を定期的に点検しましょう！

自宅に設置している住宅用火災警報器の電池が切れていないか、警報器の「ボタンを押す」や「紐を引く」などをして、音が鳴るかの確認をしましょう。

正常に作動しない場合は電池切れや故障の可能性があるため、本体の取り替えや電池交換をしてください。

設置している警報器が、いざという時にきちんと作動するように、日頃からお手入れを行いましょ。

■令和5年度全国統一防火標語■
「火を消して 不安を消して つなぐ未来」
(消防局予防部予防課 ☎363-0263)

**【補助制度】節水と防災に！
雨水貯留タンクを設置しよう！**



自宅の屋根に降った雨水をタンクに溜め、家庭菜園や洗車、庭木の水やりなどに利用できます。災害等による断水時にはトイレの洗浄水等の生活用水にも利用できます。

☑ 雨水貯留タンクの設置にかかる費用の2分の1(雨水貯留タンク：上限3

万5千円)を助成 ☑ 自宅に雨水貯留タンク(合計200リットル以上)を設置する方 ☑ 事前に各区役所総務企画課、または水保全課へ
(水保全課 ☎328-2436)

「新型コロナ緊急空き店舗対策事業費補助金」募集しています

市内商店街の空き店舗への出店に係る経費や店舗所有者が複数店舗に分割する際の経費の一部を補助します。創業者だけでなく、2店舗目以降の出店にも利用できます。

■新規出店者支援
【募集期間】12月28日(木)まで
【補助限度額】最大300万円(補助率1/2) ※出店する店舗により変動あり
【補助対象経費】内装、外装、設備の工事費、家賃(上限2か月分)など

■空き店舗リノベーション支援
【募集期間】12月28日(木)まで
【補助限度額】300万円(補助率1/2)
【補助対象経費】既存店舗を複数店舗に分割するための改装費等
詳しくは、市ホームページまたは商業金融課へ。
(商業金融課 ☎328-2424)



第46回火の国まつり『おてもやん総おどり』ボランティア募集！

総おどりでの観客誘導や、会場内の交通整理などを行うボランティアを募集します。企業・学校など団体での参加もできます。一緒に火の国まつりを盛り上げましょう！

☑ 8月5日(土)午後6時～3時間程度(予定) ☑ 100人 ☑ 6月30日までに、申込書を郵送、メール等でイベント推進課へ

申込方法および申込書は火の国まつりホームページ(https://kumamoto-guide.jp/hinokunimatsuri/)に掲載。
(イベント推進課 ☎328-2948)

美化協定締結団体を募集しています！

本市では、地域のボランティア清掃などを行う団体と美化協定を締結しています。

- 協定を結び、継続的に美化活動を行う団体には次のような支援を行っています。
 - ・活動に必要な用具(ほうき・ごみ袋・軍手・ちりとり)を提供
 - ・活動で発生した清掃ごみの回収
 - ・ボランティア保険の適用(各種条件有)
- 美化協定の締結は随時募集しています。



詳しくは、廃棄物計画課(☎328-2359)へ。
※今年度から担当課が変更になっています。

金婚夫婦表彰の受付を行います

☑ 昭和48年1月1日～12月31日に婚姻を届け、夫婦とも存命の方 ☑ 本籍地で取得した戸籍謄本(抄本) ☑ 6月1日～7月7日までに各区役所福祉課・総合出張所へ

【熊日金婚夫婦表彰】
☑ 9月1日(金)午前10時半～(予定)
☑ 市民会館シアーズホーム夢ホール(高齢福祉課 ☎328-2963)

第54回九州芸術祭文学賞作品(小説)募集

【応募作品】小説1編(未発表作品)400字詰め原稿用紙換算で55～60枚
【地区選考】九州を11地区に分け、地区優秀作各1編、次席各1編を選ぶ

【最終選考】11地区の優秀作の中から最優秀作1編を選ぶ(選考委員は村田喜代子、小野正嗣、「文学界」編集長他)

【賞金など】最優秀作には賞金30万円と「青木秀賞」(賞金20万円)を進呈し、「文学界」に掲載。佳作(賞金7万円)。地区優秀作(賞金5万円)。地区次席(賞金2万円)

☑ 市内在住者 ☑ 8月31日(必着)までに、郵送または持参で〒860-8601文化政策課へ

※市外在住者は応募方法が異なります。詳しくは、市ホームページの応募要項をご覧ください。
(文化政策課 ☎328-2039)

飲用井戸の水質検査をしましょう

飲み水のために井戸を設置している方は、年に1回以上、水質検査を行いましょ。

※水質検査は、民間の検査機関へ直接ご依頼ください(費用は自己負担)。
※城南町の未給水地域の飲用井戸は補助制度があります。詳しくは城南総合出張所または南区総務企画課へ。
(生活衛生課 ☎364-3187)

交通遺児援助基金へのご協力について

本市では、市内に住む小・中学生で、交通事故で親を失った方、および父

たは母が交通事故で重度の後遺障害を患った方に対し、援助を行っています。

■援助の内容

(1) 就学援助金の支給
交通遺児の小・中学校入学および中学校卒業時に、就学援助金を支給。

(2) 図書カードの支給
教育用品購入補助として、交通遺児に図書カードを支給。

この援助は、皆様からご協力いただいた交通遺児援助基金で運営しています。

この基金にご賛同いただける方は、生活安全課へご連絡ください。

また、市役所1階ロビーにも募金箱を設置していますので、ご協力をお願いします。

(生活安全課 ☎328-2397)

住宅・土地統計調査の調査員を募集します

「住宅・土地統計調査」は、我が国の住宅とそこに居住する世帯の居住状況、世帯の保有する土地等の実態を把握し、その現状と推移を明らかにする調査です。

この調査において、各世帯を訪問し、調査票の記入依頼や調査票の回収・点検・提出等をしていただく調査員を募集します。

任命期間中は、非常勤の公務員となり、受け持つ調査区数によって金額は異なりますが、報酬が支払われます。

【任命期間】令和5年8月下旬～10月下旬
調査員を希望する方は、データ戦略課へお電話ください。

(データ戦略課 ☎328-2380)

雨水浸透升の設置に補助が受けられます!!

雨水を地下に浸透させ、各家庭から外へ流れ出す雨水の量を抑えることで、道路の冠水を軽減し、さらには地下水涵養の効果がある「雨水浸透枳」の設置に対して補助を行っています。



【補助金の額1基当たり】
塩化ビニル製 14,000円
コンクリート製 19,000円

委員募集

熊本市農水産業計画推進委員会

本市の農水産業施策の基本指針を定める農水産業計画について審議する委員

- 任期 委嘱日から3年間
対象 以下のすべてを満たす方
① 市内に住むか通勤・通学する18歳以上の方
② 農水産業の振興について関心のある方
③ 農水産業計画推進委員会に出席できる方
定員 2人(書類・面接による選考)
申込 ・郵送(締切日:6月30日消印有効)
・持参(6月1日から30日までの午前8時半～午後5時(月曜日～金曜日))
・電子メール(締切日:6月30日午後11時59分まで着信有効)
詳しくは、市ホームページまたは農業政策課(☎328-2403)へ。

熊本博物館協議会

熊本博物館の運営に関して意見・提言を行う委員

- 任期 委嘱日から2年間
対象 以下のすべてを満たす方
① 市内に住むか通勤・通学する18歳以上の方
② 博物館の運営に関心がある方
定員 2人(書類・面接による選考)
申込 ・郵送(締切日:6月20日消印有効)
・持参(5月21日から6月20日までの午前8時半～午後5時(月曜日を除く))
・電子メール(締切日:6月20日午後11時59分まで着信有効)
詳しくは、市ホームページまたは熊本博物館(☎324-3500)へ。



詳しくはこちら

市長とドンドン語ろう！(次期総合計画策定に向けて)参加者募集

無料

区※1	日時	場所	締切
東	7月8日(土)午後3時～(1時間半程度)	動植物園緑の相談所※2(西門植物園側入口付近)	7月1日(土)
中央	7月16日(日)午前10時～(1時間半程度)	中央公民館	7月9日(日)

※1 西・南・北区は後日開催予定のため、次号の市政だよりにてお知らせいたします。
※2 西門横「緑の相談所入口」よりお入りください(その他の入口から入ると有料)。

内容 市民の皆さまと市長との対話を通して、本市の未来について考える
対象 各開催区にお住まいまたは通勤・通学されている方
定員 50人程度(先着順)
申込 6月5日から氏名、住所、電話番号、参加希望区を電話(☎334-1500)またはホームページ(higomaru-call.jp/event)でひごまるコールへ



(政策企画課 ☎328-2035)

家庭ごみの排出量 2022年度(4～3月) 438g(前月比 ±0g/目標 403g) 1人1日あたり (廃棄物計画課 ☎328-2359)

生活用の水使用量 2023年度4月 229L(前月比 ±0L/目標 210L) 1人1日あたり (水保全課 ☎328-2436)